

Q: 新庁舎周辺アクセス道路計画の進捗について

A: 須恵4号線については、ある程度の方向性は決まりつつあると考えている。



牧野雅一議員

新庁舎周辺街路計画の進捗について

牧野 周辺アクセス道路計画及び工事期間中の周辺住民の安全確保を鑑みた工事用車両の動線確保について幾度となく重ねて尋ねてきたが、改めてその後の進捗について伺う。

都市整備部長 岡口3号線（JR五条駅北側～旧五條

高校跡地への東西のアプローチ道路）についての用地交渉は2軒の地権者に説明と理解を求めていく。



牧野 岡口3号線の開通の見通しについて尋ねる。

都市整備部長 買収交渉を含めた事業を進めてまい

牧野 現状では開通の見通しまで至っていないとの解釈になる。

須恵4号線（本陣交差点紀陽銀行より北向き）の工事期間の安全確保について、理解はいただけているのか尋ねる。

都市整備部長 2月中旬の説明会において一定の理解を得られていると考えてい

る。



牧野 新庁舎整備事業において重要な須恵4号線につ

市長 きちんとした方向性は確定していないが、ある程度

の方向性は決まりつつあると考えている。

牧野 新庁舎建設事業は、

建物を含めた周辺道路整備が一体となって進めるべきで、誰かのために進めるのではなく、市民の皆様の確かな未来のために進めるべき事業であると考える。

平昌オリンピックで銅メダルを手にしたカーリング女子、試合中はいつも笑顔

の5人、「そだね〜ジャパン」が、北海道北見市での凱旋時の会見で、練習拠点である北見市常呂町、人口5千人足らずの町で、7歳の時からカーリングを始め、た吉田知那美選手は「小さい時は、この町にいても絶対に夢は叶わないって思っていました。だけど今はここにいなかったら、叶わなかったなと思ってます。みんなも、この町でも叶えられると思います」と集まった子供たちに涙で呼びかけた。それを聞いた時、私たちの町も、この町で育まれる子供たちに向かって胸を張って、そう言える「笑顔と希望」のある町づくり

に励むべきと痛感した次第である。町は誰か一人では、つ



くれない。皆が一つになつてこそ、

その他の質問



- 1 大塔地域の振興について
- 2 五條市の医療体制について
- ① 五條病院開院後の医療体制について

- 3 ハザードマップの作成状況について
- 4 五條市立奈良良立五條高等学校賀名生分校寄宿舎の運用見直しについて

- 5 財政運営について
- ① 予算編成について
- ② 基金の在り方について
- ③ 公債費について

- 6 花咲寮移転事業について
- ① 進捗状況について



Q: 公共施設跡地利用の一環としてのドッグラン整備について

A: みどり園跡地利用は、博物館や5万人の森公園と一体的に検討し、整備を視野に入れてまいりたい。

伊谷賢司議員

**上野公園の復旧について
(人工芝グラウンドの復旧について)**

伊谷 多目的グラウンドの復旧について伺う。

都市整備部長 人工芝の多目的グラウンドやテニスコートの復旧は6月末の完了を目途に準備を進めている。

(上野公園築堤に向けての国との協議予定について)

伊谷 国との協議の今後の方向性について伺う。

都市整備部長 築堤工事については上野公園の駐車場整備も含め、今後も国土交通省和歌山河川国道事務所に早期に着手いただけるよう河川改修事業費の必要額の確保等について要望してまいります。

交通安全対策について

伊谷 市内の道路(市道・県道・国道)における交通事故多発箇所並びに危険箇所(通学路等)洗い出しや把握・対応について伺う。

危機管理監 危機統括室は

交通関係機関と連携し交通安全の推進に取り組んでいる。主な活動は毎月1・15日に市内の巡回広報、春秋の交通安全運動期間には、市長はじめ市職員全員の立哨やパトロール・広報等の啓発活動を実施している。

都市整備部長 国道・県道は警察庁と国土交通省が合同で平成29年11月「事故危険箇所」として指定を行い、安全対策を立案するため、道路管理者と奈良県公安委員会が連携している。

五條市内指定箇所として、一般国道の交差点が5箇所、単路が2箇所、一般県道の交差点が1箇所である。事故発生時においてその都度、関係機関と安全対策について協議し、早急に対処しなければならぬ箇所については対策工事を実施している。

災害対応について

伊谷 避難場所の施設や対応等について、速やかな対応できるようなマニュアル

があるのか、また今後の取組について伺う。

危機管理監 平成30年度には地域防災計画を改定する予定である。関係各課と十分協議しながら、本市独自のマニュアルの策定に向けて検討してまいりたい。

観光施策について

伊谷 大塔町や西吉野町の既存施設の活用について伺う。

産業環境部長 現在大塔地区の施設は一般財団法人大塔ふる里センターが運営・管理しているが、関係各課で協議し、今後の方針・利活用方法等についてを検討し研究してまいりたい。

西吉野町のこんぴら館は平成30年度には本格稼働し、ドッグランの整備も行う予定である。

市の発展について

伊谷 公共施設跡地利用の一環としてのドッグラン整備の検討について伺う。

産業環境部長 みどり園解

体後の跡地整備については、周辺自治会の皆様のご意見を伺いながら跡地整備計画を策定しており、ドッグランを備えた整備も視野に入れて検討している。

伊谷 ドッグランをコアとし、集客できるような拡張性を持たせた整備はお考えか伺う。

産業環境部長 ドッグランにはジビエール五條と連携を図り、ペットフードなど愛犬用品を販売する施設やトリミングの施設などを併設すれば市内外から多くの方々にお越しいただけると考えている。さらに災害救助犬やセラピー犬とのふれあいの場を設け、将来的には警察犬や盲導犬・獣害対策犬の訓練場など、拡張性をもたせた整備をすることも十分可能と考えている。



Q: 子育て支援センター「はっぴい」の利用について

A: 幼稚園や保育所に通っている子供の平日の利用は難しいが土曜日に利用できるよう考えてまいる。



養田全康議員

本市の人口減少対策について

養田 奈良県では平成11年から人口減少が進み、平成11年から平成27年の16年間で8万4千人減少しているが、五條市の人口減少対策はどのような施策があるのか。
市長公室長 企画政策課では新婚世帯やUIJターン住宅取得補助金制度等がある。

すこやか市民部長 すこやか市民部では一般不妊治療費助成事業・産後母子1箇月健康診査助成事業・任意風疹予防接種助成事業等がある。
あんしん福祉部長 児童福祉課では子育て支援センター「はっぴい」の管理運営や結婚新生活支援補助金・結婚相談事業等がある。
養田 各課様々な施策に取り組んでいるが、五條市単独事業ではなく人口減少を食い止めるには子育て世代に特化した施策が必要と考える。例えば流山市では

「父になるなら流山市、母になるなら流山市」と住民誘致施策を共働きの子育て世代にしぼった施策を展開し人口増加につなげ、また人口の若返りにも成功している。五條市でも子育て世代に特化した施策を展開できないか伺う。
市長公室長 総合的に判断してまいりたい。

保育所・幼稚園の現状について

養田 現在市内の保育所・幼稚園の数、児童数は。

あんしん福祉部長 公立保育所は9箇所、阿太・大塔保育所は休所中、児童数は五條25名、宇智野111名、北宇智67名、南宇智42名、阪合部13名、牧野96名、岡33名である。

教育部長 幼稚園は2箇所、児童数は五條53名、西吉野13名である。

養田 子供の数は減少しているが保育所休所の規定はあるのか。また少数になっ

ていく保育所に対し救済の施策はあるのか、どのように保護者に対しアプローチしているのか伺う。

あんしん福祉部長 人数的な休所条件はない。要望があり、説明をさせていただいたことはあるが、今後については保護者と協議・検討してまいりたい。

養田 少数になった場合、保育所存続のニーズ調査は必要であり、また、行事や子供たちの遊ぶ遊具等、建物自体も保育所が存続する間は迷惑を掛けることなく安全に使用できるように整備検討しなければいけないと考える。今後適正化が進むと思うが保護者や先生方にしつかりと確認をお願いする。



養田 イオンに開所した「はっぴい」の利用状況、また使用条件について伺う。

あんしん福祉部長 昨年11月に開所した「はっぴい」の利用は4箇月で517名、一日平均7名、また子育て相談及び親子の交流・遊び場の提供などを行う地域子育て支援拠点事業の利用者数は1,507名で一日平均19名となっている。

養田 現行、幼稚園・保育所に通っている子供は国の要領に基づき「はっぴい」の利用ができないが、利用率があまりにも高いので土日祝や幼稚園・保育所に通っている子供たちも使えるようにできないか伺う。

あんしん福祉部長 定員が10名で平日は難しいが、土曜日については利用できるよう考えてまいる。

養田 多くの子育てしている皆様に利用できる施設になるよう対策をお願いする。

その他の一般質問

- 1 学校適正化について
- 2 五條市立奈良県立五條高校 校賀名生分校について



吉田雅範議員

Q：賀名生分校魅力化事業について

A：関係機関との連絡調整を密にし、充実した実習体制が構築できるよう進めてまいりたい。

自衛隊誘致について

吉田 自衛隊駐屯地と県の消防学校等を分けて考える方が良いのではと思うが、用地取得について伺う。

危機管理監 現在優先順位

一位のプレディアゴルフ地区の地籍調査を行っているが、用地確保の観点からは切り離して進めることは難しいと考える。

吉田 県の消防学校等を別の所に誘致するという考えも持つて事業を進めていただきたい。

五條市立奈良県立五條高等学校賀名生分校魅力化推進事業について

吉田 地元の就労活動や農家の協力・農業機関との連携について伺う。

教育部長 担い手育成を視野に入れ、県担当課との協議や果樹・薬草研究センター等への協力依頼、市内農業法人との協議や農業団体等への依頼・調整等を行ってきたが、今後も関係機関

との連絡調整を密にし、充実した実習体制が構築できるよう進めてまいりたい。

吉田 4月からの基本的なカリキュラムの構築について伺う。

教育部長

1・2年生では実習を重視、柿学など学校独自の科目を設定し、地域学習を積極的に取り入れ、3・4年生では就労活動を取り入れ、OJT^{※1}による農業生産技術の向上・形成感覚の醸成を目指す内容となっている。

吉田 農業機関や支援農家の方々と学校が連携をとり進められるようお願いする。

五條市の下水道事業について

吉田 市の公共下水道事業は昭和60年に事業着手、30年余り経過しているが、現在の進捗状況について伺う。

都市整備部長

平成28年度末現在供用開始となった面積は577ヘクタール、事業計画決定面積957ヘク

タールに対する進捗率は60・3パーセント、水洗化率は76・6パーセントとなっている。

吉田 下水道計画区域内の方が改築・新築される際に一旦浄化槽を設置しなければならぬケースがあるが、補助金の対象にならないと聞く。早急な下水道整備工事が難しい場合など浄化槽設置に係る補助金の柔軟な対応が必要と考える。

都市整備部長

国・県からの補助と合わせながら交付する補助金であるので、計画区域内は交付対象区域外となっている。現在未整備のところも年次計画を立て整備を進めてまいりたい。
吉田 市民の不均衡・不公平とならないようお願いする。

シダーアリーナの水害について

吉田 台風21号によりシダーアリーナの高圧電気設備が浸水したが構造や設計に

は問題はなかったのか伺う。
都市整備部長 平成25年度の設計段階で過去最大の水位に着目し設計地盤高を設定し、問題はないと判断していた。

吉田 防災関係で、避難ができないという話も聞く。避難場所になるのかを伺う。

危機管理監

広域避難者を収容する広域的避難拠点施設という位置付けであり、指定緊急避難場所や指定避難所には指定していない。

吉田 水害はだめで地震はいけるといふ避難場所では問題があると思う。道路整備の話もあるとのこと、今後新庁舎建設の際も道路整備も同時にお願したい。

その他の一般質問

1 クリーン・オアシスの建物のクラック問題について

①現在の状況と今後の管理について

2 パワハラ・DV・セクハラ等の被害者相談窓口について

①本市の相談窓口と対策の促進について

※1 OJTとは、職場で実際の仕事をしながら業務を覚えること。